

世界主要完成車メーカーのxEVバッテリー戦略

～素材受給と技術展開、そしてコストのバランスと現実的なバッテリー戦略の実現～

- ◇BEVを軸に需要拡大が進む車載駆動用バッテリーの世界動向をまとめ・報告
- ◇車載駆動用バッテリーメーカー各社の事業戦略・計画について詳報
- ◇主要地域別バッテリー関連政策及び事業動向を詳報
- ◇主要完成車メーカー各社の電動化計画とバッテリーメーカー別採用・提携など動向を詳報
- ◇2035年までのバッテリー素材・種類別マーケット及び普及を展望

- 発行：2024年7月予定 ●体裁：A4判、約100頁（カラー印刷バインダー形式、Web印刷版等から選択可能）
- 価格：~~495,000円~~（税込） → 予約特別価格450,000円（税込、国内送料込）
- PDF+報告会：~~825,000円~~（税込） → 予約特別価格780,000円（税込、開催1回）

世界では主要各国の環境政策の厳格化とともに「xEV」と呼ぶ電動化が進展しています。こうした電動化の進展と同時に重要視されているのが、「駆動用バッテリーの確保」です。COVID-19を前後にBEVでトップシェアを誇るTeslaが注目を浴びたこと、2023年にはBEV+PHEVで300万台の販売を越したBYDといった新興メーカーの登場は、今後の電動化に加え、彼らの製品やそれを支えるバッテリー戦略に至るまで世界主要完成車メーカーの戦略に影響を及ぼしたといえるでしょう。

電動化への完成車メーカーの計画が進んでいることに伴い、現在xEVのコアとなるバッテリーの確保が再び重要視されています。2022年8月に米国バイデン大統領が署名したインフレ抑制法（IRA）が発効に伴った現地化対応とサプライチェーンの再構築に加え、欧州では欧州域内でのバッテリーエコシステムの構築に向けたバッテリーパスポート制度やCBAM（Carbon Border Adjustment Mechanism・炭素国境税）の導入に伴ったバッテリーの現地化が求められています。ただ、バッテリー材料そのものは、世界主要資源国からの調達が可能ですが、鉱山から採掘された材料を、バッテリーの正極材、負極材等に加工する工程はほとんど中国で行われ、その依存もますます増大しているのが現状です。これは、世界のBEV業界がバッテリーを通じて中国にコントロールされていることを意味します。こうした構造を打開するため、欧米の規制法案はバッテリー分野で強国として君臨する「中国」を排除し、バッテリーの各国の自給能力確保と産業育成を図る「自主独立」を目指し、それぞれの地域における自前のバッテリーエコシステムの構築と「Made by Non-China」のBEVを生産するといった、自動車業界の今後の動き（主導権）を守りたい狙いがあると言っても過言ではありません。とはいえ、過去数十年間で構築してきた現状のバッテリーサプライチェーンを急速に変化させることはできませんし、サプライチェーンの新規構築に大型投資が求められることを含めて考えると、今後こうした欧米の政策とこれに伴う中国デカップリングに加え、ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・パレスチナ紛争等といった様々な政治・安保状況がバッテリー調達においてさらなる悪材料となり、負の影響を及ぼし続けると考えられます。さらに、素材段階での深刻な問題は今後の2030年、2035年、2040年において求められる各国の環境・電動化規制への対応を難しくする可能性があるほか、完成車メーカー各社の事業計画そのものを揺るがしかねません。

世界的にカーボンニュートラルの実現に向けて、BEVを中心とした電動化シフト計画が進められているのですが、この計画の実現において根幹ともいえるバッテリーの需給不安は、今後新たな展開を見せるに違いありません。既に発表されている生産能力の計画では、2035年までに少なくとも3～4TWh規模の生産能力が見込まれています。しかし、このうち、一部にESS（蓄電システム）などの非自動車向けも含まれていることから、実際の完成車メーカー各社が計画通りバッテリーを調達できるとは限りません。また、バッテリーの材料そのものの需給不安があることから今後の推移を見届ける必要があります。このような状況の中で、自動車各社はいつどのようにどれくらいのバッテリーをいかに調達し、確保しようとしているのか、そして、いかにコストを下げた利益基盤を生み出そうとしているのか、さらに、素材から破棄、リサイクル、再利用といった一つのバリューチェーンの形成に関する各社の取り組みはどうなっているのか、様々な項目に関して業界の注目が集まっています。

本調査報告書では、世界的な電動化の動きとともに注目が高まっている駆動用バッテリー分野について、政府政策および自動車メーカー・サプライヤー（セル・部品など）の成長や戦略・将来展望の取りまとめに加えバッテリーを取り巻く世界的パワーバランス、投資、提携関係などあらゆる分野において調査・分析を致します。特に材料需給状況とコスト変動解明に注力して、より現実的なバッテリー産業の見方と電動化への実現可能性について分析しております。主要自動車メーカー及びバッテリーサプライヤーの動向確認、今後の電動化分野における予測・判断材料として、当報告書をご活用頂ければ幸いです。

総論 xEVバッテリーと世界自動車産業の電動化進捗の相関関係

- ・2035年電動車予測とxEV用バッテリーの展望
- ・xEV用バッテリーの現実的な取り組みと理想的なシナリオとの狭間
- ・自動車向けおよび非自動車向けバッテリーをめぐる主な取り組み

1章 世界主要マーケットの環境規制と自動車産業

- ・欧州、米州、アジア（中国、日本、韓国、インド）の環境規制
- ・電動化進捗と補助金など税制優遇策
- ・バッテリー産業関連の各国政府別政策動向

2章 主要完成車メーカーの電動化シフトとxEVバッテリー戦略

- ・VW Gr.、BMW、Mercedes-Benz、Stellantis、Renault/Ampere、GM、Ford、Tesla、Rivian、Lucid Motors
- トヨタ、ホンダ、日産/三菱自、現代自グループ、BYD、NIO、Xpeng、Li Auto、その他OEM

3章 主要xEVバッテリーメーカーの事業戦略と比較

- ・パナソニック/PEVE、東芝、GSユアサ/ブルーエナジー
- LG Energy Solution、Samsung SDI、SK On
- CATL、国軒科技(Gotion)、CALB、Farasis、SVOLT、AECS他
- PowerCo、Northvolt、Morrow、Freyr他
- Solid Power、QuantumScape、SES等固体バッテリーメーカー

4章 主要xEVバッテリー素材別動向・市場動向・技術開発・長期展望

- ・正極材
- ・負極材
- ・電解液・電解質・添加剤
- ・セパレーター
- ・固体、Li-Metal、Na-ion、LiS等の次世代バッテリー
- ・その他（バッテリーセルケース、銅箔、タブなど）

5章 主要xEVバッテリー構成部品別市場・技術開発動向

- ・BMS
- ・高電圧ワイヤー
- ・熱マネージメント
- ・筐体（ハウジング）：軽量化、素材など
- ・バッテリーパック技術

6章 バッテリーリサイクルとサーキュラーエコノミーの実現

- ・バッテリーセルリサイクル（Redwood Material、Teslaなど）
 - 正極材、負極材など素材別リサイクル技術、動向など
- ・車載バッテリーセルのESS転用
- ・バッテリーリサイクルの将来展望

お申し込み方法と連絡先のご案内

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。
お申し込み、お問い合わせは、申込書に必要事項をご記載の上、FAXまたは郵送下さい。
またE-mailによる受付も行っております。

世界自動車・部品産業の調査・出版



〒464-0025名古屋市千種区桜が丘292
TEL：052-789-1101 FAX：052-789-1147
<https://www.fourin.jp> E-mail：info@fourin.jp

申込書

ご希望のタイプにチェックマークを入れてください。下記の申込用紙に必要事項を記入の上
Eメール(info@fourin.jp)、Fax (0120-0000-73)、郵送のいずれかで弊社まで直接お申込みください。

世界主要完成車メーカーのxEVバッテリー戦略

カラー印刷バインダー綴じタイプ
予約特別価格：税込450,000円（発刊前申込に限る）

カラー印刷バインダー綴じタイプ+Web印刷タイプ
予約特別価格：税込549,000円（発刊前申込に限る）

Web印刷タイプ
予約特別価格：税込450,000円（発刊前申込に限る）

PDF+報告会セット
予約特別価格：税込780,000円（発刊前申込に限る）

御社名

御利用部署名

御住所 〒
(送付先)

TEL番号

FAX番号

E-mail address

(フリガナ)
担当者氏名

御役職

通信欄